

かほく市
地球温暖化防止実行計画
(事務事業編)
第3期

(2020年度～2030年度)

令和2年2月
かほく市

目次

第1章 実行計画策定の背景	1
第2章 基本的事項	2
1. 目的	2
2. 対象とする範囲	2
3. 対象とする温室効果ガス	2
4. 計画期間	2
第3章 温室効果ガスの排出状況	3
第4章 温室効果ガスの排出削減目標	5
1. 目標設定の考え方	5
2. 温室効果ガスの削減目標	5
第5章 目標達成に向けた取り組み	6
1. 取り組みの基本方針	6
2. 具体的な取り組み内容	6
第6章 進捗管理体制と進捗状況の公表	8
1. 推進体制	8
2. 点検・評価・見直し体制	9
資料	11

第1章 実行計画策定の背景

地球温暖化は、地球表面の大気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象であり、我が国においても異常気象による被害の増加、農作物や生態系への影響等が予測されています。地球温暖化の主因は人為的な温室効果ガスの排出量の増加であるとされており、低炭素社会の実現に向けた取組が求められています。

国際的な動きとしては、2015年12月に、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）がフランス・パリにおいて開催され、新たな法的枠組みである「パリ協定」が採択されました。これにより、世界の平均気温の上昇を産業革命から2.0℃以内にとどめるべく、すべての国々が地球温暖化対策に取り組んでいく枠組みが構築されました。

我が国では、1998年に地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）（以下「地球温暖化対策推進法」といいます。）が制定され、国、地方公共団体、事業者、国民が一体となって地球温暖化対策に取り組むための枠組みが定められました。同法により、すべての市町村が、地方公共団体実行計画を策定し、温室効果ガス削減のための措置等に取り組むよう義務づけられています。

2016年には、地球温暖化対策計画（平成28年5月13日閣議決定）（以下「地球温暖化対策計画」といいます。）が閣議決定され、我が国の中期目標として、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で26.0%減とすることが掲げられました。また、中期目標の達成に向けた部門別の対策・施策が掲げられており、中でも業務その他部門については、目標達成のためには約40%削減する必要があるとされています。同計画においても、地方公共団体には、その基本的な役割として、地方公共団体実行計画を策定し実施するよう求められています。

本市においては、平成20年より、自らが事業者・消費者として環境保全活動に取り組んでいくため「かほく市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）」を策定し、環境への負荷の少ない物品の購入・使用、温室効果ガスの排出等のための措置に取り組んできました。令和元年度末に、「かほく市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）（第2期）」の計画期間が終了することから、「かほく市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）（第3期）」を策定し、令和2年度からも引き続き地球温暖化防止対策を推進します。

第2章 基本的事項

1. 目的

「かほく市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（第3期）」（以下「実行計画」といいます。）は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「地球温暖化対策推進法」といいます。）第21条第1項に基づき、地球温暖化対策計画に即して、かほく市が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的とします。

2. 対象とする範囲

実行計画の対象範囲は、本庁及び出先機関を含めたすべての機関に係る事務・事業とします。ただし、災害防止関連業務及び民間企業や公益法人など外部への委託（施設の管理運営を含む）により実施している事業は、実行計画の対象外とします。

3. 対象とする温室効果ガス

実行計画が対象とする温室効果ガスは、地球温暖化対策推進法第2条第3項に掲げる7種類の物質のうち、排出量の多くを占めている二酸化炭素（CO₂）とします。

4. 計画期間

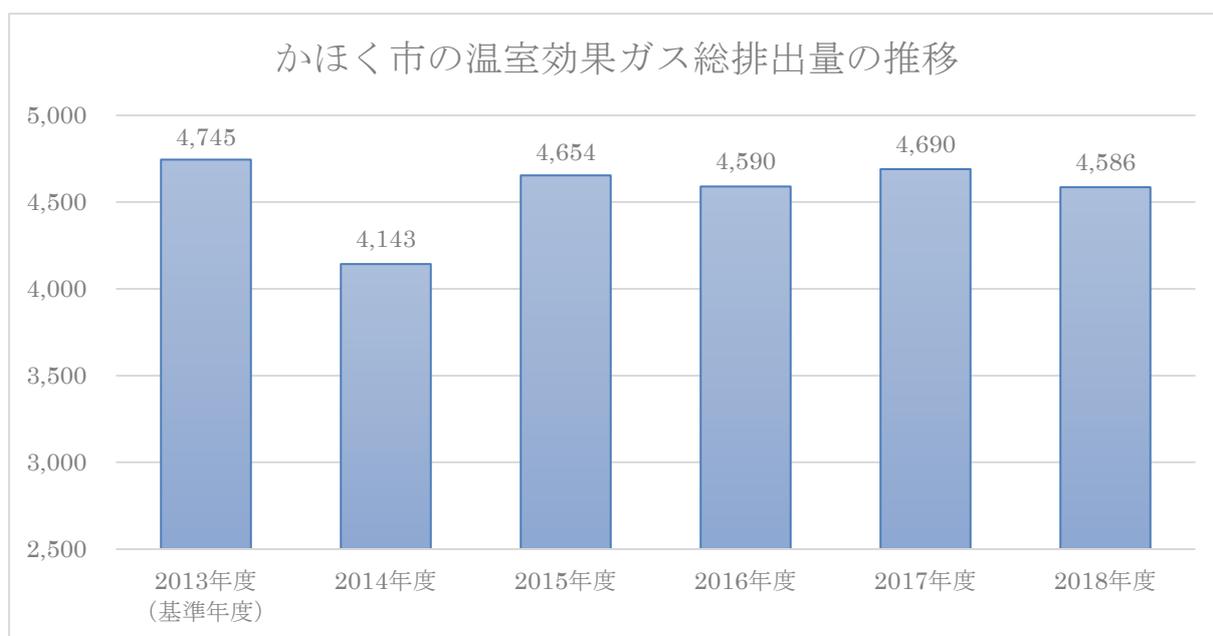
実行計画の期間は、2020年度から2030年度までの11年間とし、基準年度は2013年度とします。また、計画開始から5年後の2024年度に計画の見直しを行います。その他、計画期間の取り組み状況や技術の進歩、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

第3章 温室効果ガスの排出状況

かほく市の事務・事業に伴う「温室効果ガス総排出量」は、基準年度である2013年度において、4,745t-CO₂となっています。また、基準年度から現在までの温室効果ガスの総排出量の推移は以下のとおりとなっています。

表3-1 かほく市の温室効果ガスの総排出量の推移

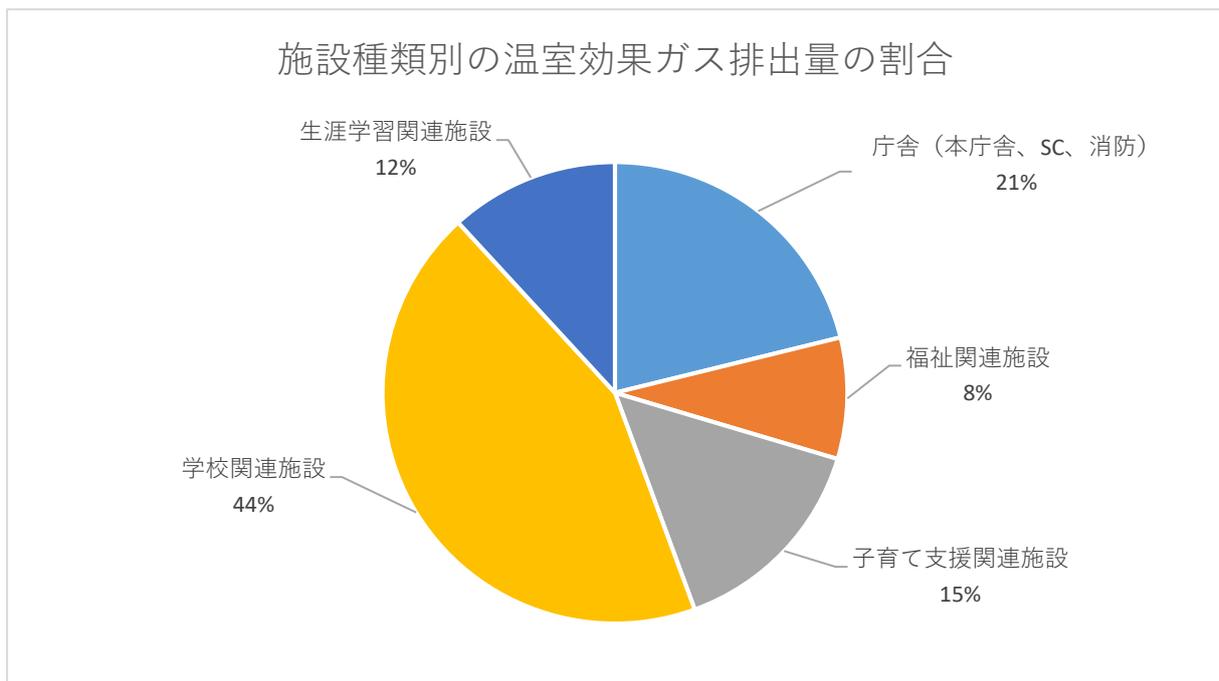
	2013年度 基準年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	4,745	4,143	4,654	4,590	4,690	4,586



施設別では、学校関連施設が全体の44%を占め、次いで庁舎（本庁舎、サービスセンター、消防関連施設）21%、子育て支援関連施設15%、生涯学習関連施設12%、福祉関連施設8%となっています（上下水道課関連施設、都市建設課関連施設は除きます）。

表 3-2 施設種類別の温室効果ガス排出量の割合（2013 年度）

項 目	排出量 (t-CO2)	割合
庁舎（本庁舎、SC、消防）	1,003	21%
福祉関連施設	403	8%
子育て支援関連施設	702	15%
学校関連施設	2,078	44%
生涯学習関連施設	559	12%
合 計	4,745	100%



第4章 温室効果ガスの排出削減目標

1. 目標設定の考え方

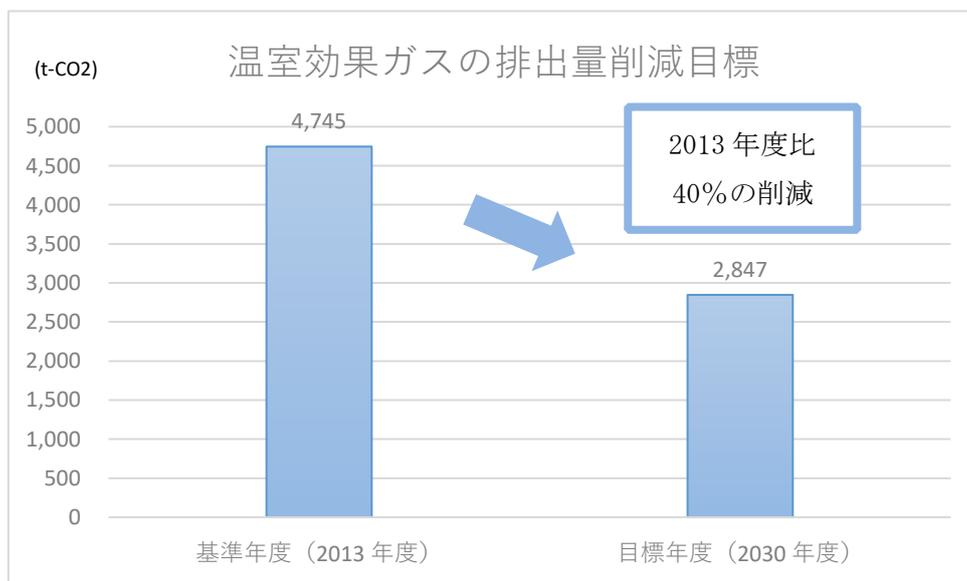
地球温暖化対策計画等を踏まえて、かほく市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出削減目標を設定します。

2. 温室効果ガスの削減目標

目標年度（2030年度）に、基準年度（2013年度）比で40%削減することを目標とします。

表 4-1 温室効果ガスの削減目標

項目	基準年度 (2013年度)	目標年度 (2030年度)
温室効果ガスの排出量 (t-CO ₂)	4,745	2,847
削減率	-	40%



第5章 目標達成に向けた取り組み

1. 取り組みの基本方針

温室効果ガスの排出要因である、電気使用量と灯油・重油・ガソリンなどの燃料使用量の削減に重点的に取り組みます。

2. 具体的な取り組み内容

(1) 施設設備等の運用改善

現在保有している施設設備等の運用方法を見直し、省エネルギー化を推進します。

- 空調熱源機等は、高効率で運転できるよう運転方法を調整します。
- 空調機器のフィルター類の清掃を適切に行い、送風効率を向上させます。

(2) 施設設備等の更新

新たに施設設備等を導入する際や現在保有している施設設備等を更新する際には、エネルギー効率の高い施設設備等を導入することで省エネルギー化を推進します。

- 高効率ヒートポンプなど省エネルギー型の空調設備への更新を進めます。
- 施設照明のLED化を進めます。

(3) グリーン購入・グリーン契約等の推進

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」や「国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（環境配慮契約法）」に基づく取組を推進し、省資源・省エネルギー化に努めます。

- かほく市グリーン購入調達方針に基づいた物品や低公害車等の調達を進めます。

(4) 職員の日常の取り組み

職員への意識啓発を進め、省エネルギー・節電等の取組を定着させます。

- 不要な照明を消灯し、電気製品はこまめに電源を切ります。
- 空調は適正な運転時間や設定温度を心掛けます。
- 公用車を利用する際には、できる限り相乗りするとともに、運転に際してはエコドライブを実践します。
- クールビズ・ウォームビズを推進します。
- ごみ減量化及びリサイクルを推進します。
- 不要不急の時間外勤務の削減に努めます。

(5) その他

その他、以下の取り組みにより環境へ配慮した事務の執行に努めます。

- 環境に配慮した設計・施工の実施及び環境法規制事項の遵守を徹底します。
- 市が実施する各種イベントで環境配慮した運営を行います。
- 職員一人ひとりが職場以外において環境保全活動の実施に努めます。

第6章 進捗管理体制と進捗状況の公表

1. 推進体制

実行計画を推進するために、市長を委員長とする「エネルギー管理委員会」を設けます。また、各課局にエネルギー管理者及びエネルギー管理員を配置し、取組を実施します。

(1) エネルギー管理委員会

市長を委員長、副市長・教育長を副委員長とし、各部局長で構成します。委員会は必要に応じて開催し、実行計画の実施に関する各種審議・方針決定を行います。また、実行計画の改定・見直しに関する協議・決定を行います。

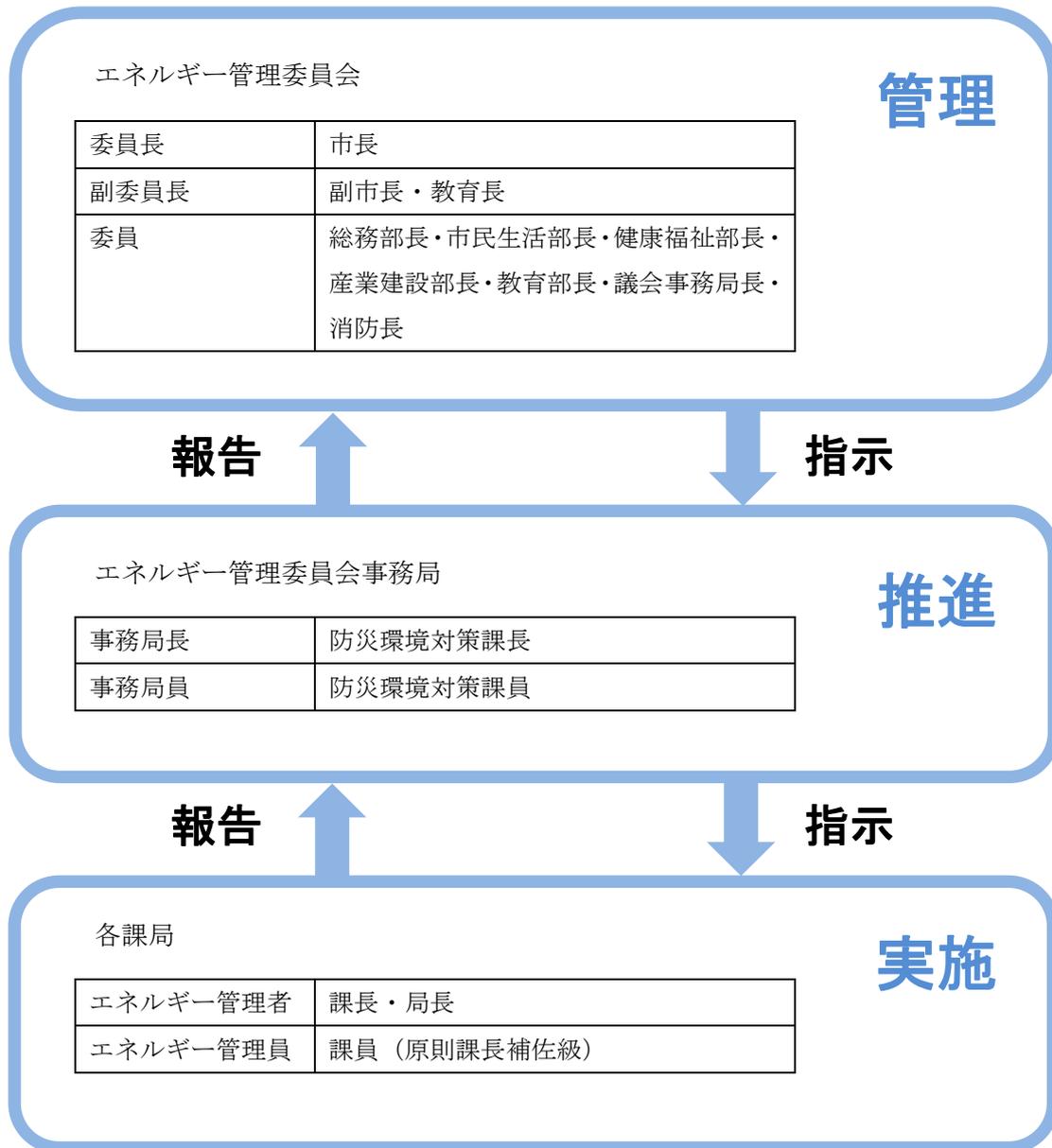
(2) エネルギー管理委員会事務局

防災環境対策課長を事務局長とし、防災環境対策課員で構成します。事務局は、エネルギー管理委員会の運営全般を行います。また、各課局の実行計画の実施状況を把握するとともに、エネルギー管理委員会へ報告します。

(3) エネルギー管理者及びエネルギー管理員

エネルギー管理者及びエネルギー管理員を各課局に各1名配置します。各課局の長がエネルギー管理者として責任者となります。また、エネルギー管理者がエネルギー管理員を任命します。エネルギー管理員は各課局において取り組みを実施し、その状況を事務局へ定期的に報告します。

図 6-1 実行計画の推進体制



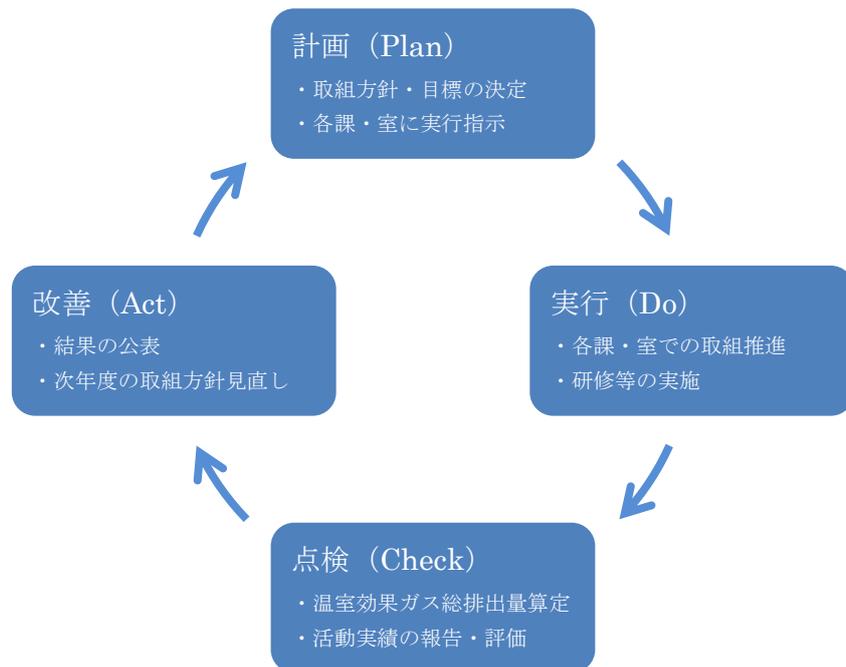
2. 点検・評価・見直し体制

実行計画は、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって点検・評価・見直しを行います。また、毎年を取組に対するPDCAを繰り返すとともに、実行計画の見直しに向けたPDCAを推進します。

（1）毎年のPDCA

実行計画の進捗状況は、エネルギー管理員が事務局に対して定期的に報告を行います。事務局はその結果を整理してエネルギー管理委員会に報告します。エネルギー管理委員会は毎年1回進捗状況の点検・評価を行い、次年度の取組の方針を決定します。

図 6-2 毎年の PDCA イメージ



(2) 見直し予定時期までの期間内における PDCA

エネルギー管理委員会は毎年 1 回進捗状況を確認・評価し、見直し予定時期（2024 年度）の前年度に改定要否の検討を行い、必要がある場合には実行計画の改定を行います。

(3) 進捗状況の公表

実行計画の進捗状況は、ホームページで毎年公表します。

【資料1 平成25年度 かほく市役所使用量一覧】

対象施設合計		
電気使用量	kwh	5,008,527
水道使用量	m ³	95,664
ガソリン使用量	ℓ	39,113
軽油使用量	ℓ	58,897
重油使用量	ℓ	139,335
灯油使用量	ℓ	294,899
プロパンガス使用量	m ³	10,592

総合計		
電気使用量	kwh	8,370,335
水道使用量	m ³	101,464
ガソリン使用量	ℓ	39,113
軽油使用量	ℓ	58,897
重油使用量	ℓ	139,335
灯油使用量	ℓ	301,599
プロパンガス使用量	m ³	10,592

本庁舎計		
電気使用量	kwh	684,306
水道使用量	m ³	1,986
ガソリン使用量	ℓ	26,152.5
軽油使用量	ℓ	21,485.9
重油使用量	ℓ	16,500
灯油使用量	ℓ	36
プロパンガス使用量	m ³	0

子育て支援課関連施設計		
電気使用量	kwh	933,154
水道使用量	m ³	15,823
ガソリン使用量	ℓ	0
軽油使用量	ℓ	0
重油使用量	ℓ	0
灯油使用量	ℓ	13,838
プロパンガス使用量	m ³	7,425

高松サービスセンター関連施設計		
電気使用量	kwh	32,915
水道使用量	m ³	278
ガソリン使用量	ℓ	235
軽油使用量	ℓ	0
重油使用量	ℓ	3,000
灯油使用量	ℓ	224
プロパンガス使用量	m ³	0

生涯学習課関連施設計		
電気使用量	kwh	644,198
水道使用量	m ³	3,200
ガソリン使用量	ℓ	1,638
軽油使用量	ℓ	0
重油使用量	ℓ	0
灯油使用量	ℓ	51,190
プロパンガス使用量	m ³	58

七塚サービスセンター関連施設計		
電気使用量	kwh	158,656
水道使用量	m ³	7,094
ガソリン使用量	ℓ	121.4
軽油使用量	ℓ	2,401.9
重油使用量	ℓ	0
灯油使用量	ℓ	49,100
プロパンガス使用量	m ³	68

学校教育課関連施設計		
電気使用量	kwh	2,207,680
水道使用量	m ³	55,166
ガソリン使用量	ℓ	0
軽油使用量	ℓ	3,294
重油使用量	ℓ	118,657
灯油使用量	ℓ	108,441
プロパンガス使用量	m ³	2,158

消防庁舎計		
電気使用量	kwh	126,363
水道使用量	m ³	1,333
ガソリン使用量	ℓ	9,476
軽油使用量	ℓ	5,470
重油使用量	ℓ	0
灯油使用量	ℓ	433
プロパンガス使用量	m ³	342

健康福祉課関連施設計		
電気使用量	kwh	221,255
水道使用量	m ³	10,784
ガソリン使用量	ℓ	1,490
軽油使用量	ℓ	26,246
重油使用量	ℓ	1,178
灯油使用量	ℓ	71,637
プロパンガス使用量	m ³	541

<参考>下水道処理施設計		
電気使用量	kwh	1,885,729
水道使用量	m ³	1,191

<参考>上水道施設計		
電気使用量	kwh	1,306,194

<参考>都市建設課関連施設計		
電気使用量	kwh	169,885
灯油	ℓ	6,700
水道使用量	m ³	4,609

【資料2 平成25年度 かほく市役所二酸化炭素排出量一覧】

対象施設合計		
合計	kg-CO2	4,744,520
電気使用量	kg-CO2	3,320,653
ガソリン使用量	kg-CO2	90,741
軽油使用量	kg-CO2	151,957
重油使用量	kg-CO2	377,598
灯油使用量	kg-CO2	734,299
プロパンガス使用量	kg-CO2	69,272

総合計		
合計	kg-CO2	6,990,082
電気使用量	kg-CO2	5,549,532
ガソリン使用量	kg-CO2	90,741
軽油使用量	kg-CO2	151,957
重油使用量	kg-CO2	377,598
灯油使用量	kg-CO2	750,982
プロパンガス使用量	kg-CO2	69,272

本庁舎計		
合計	kg-CO2	614,608
電気使用量	kg-CO2	453,695
ガソリン使用量	kg-CO2	60,674
軽油使用量	kg-CO2	55,434
重油使用量	kg-CO2	44,715
灯油使用量	kg-CO2	90
プロパンガス使用量	kg-CO2	0

子育て支援課関連施設計		
合計	kg-CO2	701,698
電気使用量	kg-CO2	618,681
ガソリン使用量	kg-CO2	0
軽油使用量	kg-CO2	0
重油使用量	kg-CO2	0
灯油使用量	kg-CO2	34,457
プロパンガス使用量	kg-CO2	48,560

高松サービスセンター関連施設計		
合計	kg-CO2	31,056
電気使用量	kg-CO2	21,823
ガソリン使用量	kg-CO2	545
軽油使用量	kg-CO2	0
重油使用量	kg-CO2	8,130
灯油使用量	kg-CO2	558
プロパンガス使用量	kg-CO2	0

生涯学習課関連施設計		
合計	kg-CO2	558,745
電気使用量	kg-CO2	427,103
ガソリン使用量	kg-CO2	3,800
軽油使用量	kg-CO2	0
重油使用量	kg-CO2	0
灯油使用量	kg-CO2	127,463
プロパンガス使用量	kg-CO2	379

七塚サービスセンター関連施設計		
合計	kg-CO2	234,371
電気使用量	kg-CO2	105,189
ガソリン使用量	kg-CO2	281
軽油使用量	kg-CO2	6,197
重油使用量	kg-CO2	0
灯油使用量	kg-CO2	122,259
プロパンガス使用量	kg-CO2	445

学校教育課関連施設計		
合計	kg-CO2	2,077,882
電気使用量	kg-CO2	1,463,692
ガソリン使用量	kg-CO2	0
軽油使用量	kg-CO2	8,499
重油使用量	kg-CO2	321,560
灯油使用量	kg-CO2	270,018
プロパンガス使用量	kg-CO2	14,113

消防庁舎計		
合計	kg-CO2	123,191
電気使用量	kg-CO2	83,779
ガソリン使用量	kg-CO2	21,984
軽油使用量	kg-CO2	14,113
重油使用量	kg-CO2	0
灯油使用量	kg-CO2	1,078
プロパンガス使用量	kg-CO2	2,237

健康福祉課関連施設計		
合計	kg-CO2	402,970
電気使用量	kg-CO2	146,692
ガソリン使用量	kg-CO2	3,457
軽油使用量	kg-CO2	67,715
重油使用量	kg-CO2	3,192
灯油使用量	kg-CO2	178,376
プロパンガス使用量	kg-CO2	3,538

<参考>下水道処理施設計		
合計	kg-CO2	1,250,238
電気使用量	kg-CO2	1,250,238

<参考>上水道施設計		
合計	kg-CO2	866,007
電気使用量	kg-CO2	866,007

<参考>都市建設課関連施設計		
合計	kg-CO2	129,317
電気使用量	kg-CO2	112,634
灯油	kg-CO2	16,683

端数処理の関係上合計と内訳に差異があります。

(小数点以下四捨五入)

換算係数	
電力	0.663
ガソリン	2.320
軽油	2.580
A重油	2.710
灯油	2.490
プロパンガス	6.540